

## 第2回学校評価委員会の意見

○実施日 平成29年11月27日（月）

<創立60周年記念式典、公開保育に合わせて開催>

### 1 「めざす教育」について

- ・学生が10代であったり、自分のやりたいこと、自分の理想が強い場合など、自分本位になりがちなので、あくまで、保育者という立場は、子どもを中心として、子どもを理解する姿勢を強く教師側が伝えていくことが大切である。
- ・「至誠奉仕」という建学の精神はすばらしい。
- ・どの程度、教職員、学生が意識をして身につけていこうとしているかが、文面上でなく目に見えるようにしていくことが大切である。

### 2 学生による授業評価結果について

- ・29年度前期の評価が、わずかではあるが全体的に下がっていることが気になる。少し授業内容等を変更するようなことを考えたい。
- ・全体的に見て、学生の自己評価も高くないので、意欲を高めていくことが必要である。

### 3 オープンキャンパスの状況について

- ・今年度のように、春期の開催を減らし、夏期に多く開催することがよい。このことを継続していく。
- ・学生が進路を考える夏の時期に印象づける意味で、オープンキャンパスの回数を増やすとよい。
- ・他校の日程を調べて開催することを検討したい。
- ・保育士の仕事が、重労働であるとの報道がされるなど、高校生等が保育の仕事に魅力を持ってなくなって、参加者減となっているのではないか。

### 4 事業計画中間報告について

- ・新たな設備や環境づくりより、現在あるものを有効活用することを優先したい。
- ・専門学校空き部屋を幼稚園に貸すなどして、一時預かり等をして利用できることを検討したい。このことが、知名度、収益となる。
- ・中間報告としては、よいと思う。

### 5 その他

- ・細部にわたる検討がされていることは、今後も必要なことである。